

## 第22期末（2024年2月13日）

基準価額 12,371円

純資産総額 50億円

## 第17期～第22期 （2023年8月11日～2024年2月13日）

騰落率 29.2%

分配金合計 900円

(注) 騰落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

### 商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

東京都千代田区丸の内1-6-6

# ニッセイ・ メタバースワールド (予想分配金提示型)

追加型投信／内外／株式

## 運用報告書(全体版)

作成対象期間：2023年8月11日～2024年2月13日

第17期(決算日2023年9月11日) 第20期(決算日2023年12月11日)  
第18期(決算日2023年10月10日) 第21期(決算日2024年1月10日)  
第19期(決算日2023年11月10日) 第22期(決算日2024年2月13日)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ・メタバースワールド（予想分配金提示型）」は、このたび第22期の決算を行いました。

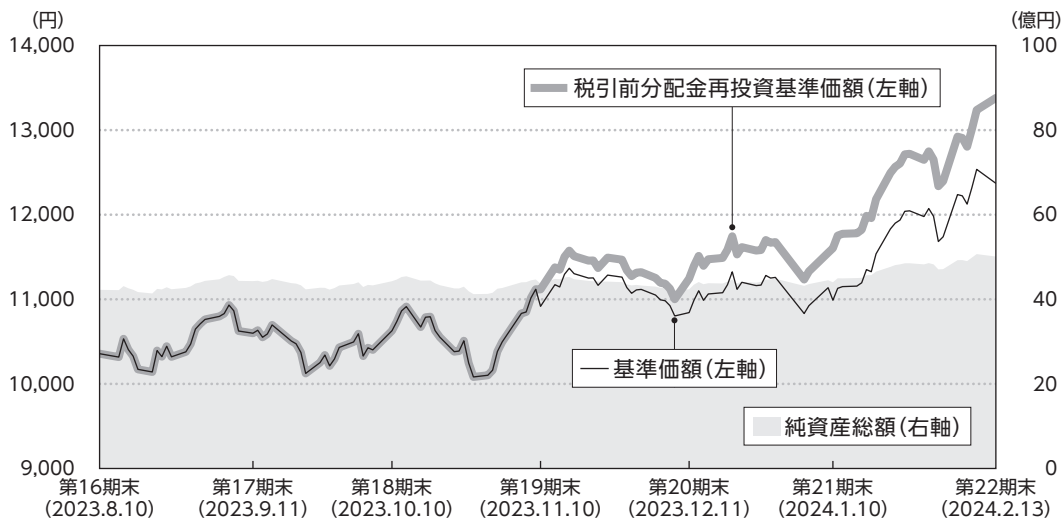
当ファンドは、「ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 運用経過

2023年8月11日～2024年2月13日

## 基準価額等の推移



第17期首	10,357円	既払分配金	900円
第22期末	12,371円	騰落率 (分配金再投資ベース)	29.2%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

## 基準価額の主な変動要因

## &lt;上昇要因&gt;

- ・11月上旬から12月下旬にかけて、インフレの落ち着きなどから欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する期待感を背景とした米長期金利の低下や、生成人工知能（AI）の需要拡大による米大手半導体企業の良好な業績発表などが好感され株価が上昇したこと
- ・1月中旬以降、生成AI関連へのさらなる需要拡大期待や業績動向を手がかりにした世界的な大型株への物色の動きなどから株価が上昇したこと
- ・投資家のリスク選好姿勢や日銀の金融緩和継続姿勢を受けて、当作成期を通じて見るとおおむね円安が進行したこと

## &lt;下落要因&gt;

- ・9月上旬から10月下旬にかけて、米金融引き締め長期化への懸念等を受けた米長期金利の上昇や中東情勢の緊迫化、低調な業績発表が相次ぎ半導体関連銘柄が下落したこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第17期～第22期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	106円	0.970%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,939円です。
（投信会社）	（ 55）	（0.506）	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	（ 49）	（0.450）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	（ 2）	（0.014）	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	1	0.006	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	（ 1）	（0.006）	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	（ 0）	（0.000）	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	2	0.015	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	（ 1）	（0.010）	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	（ 0）	（0.004）	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
（その他）	（ 0）	（0.001）	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	108	0.991	

（注1）作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

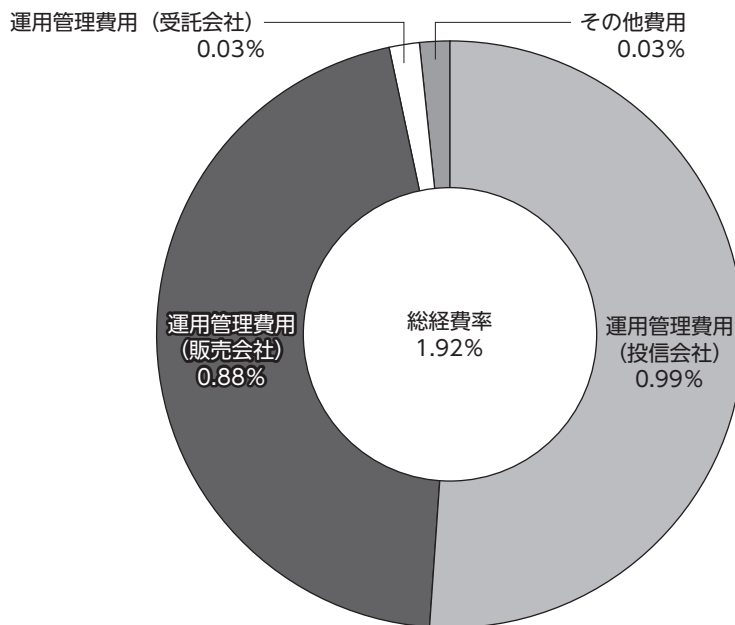
（注2）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

（注3）比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## （参考情報）

## ■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.92%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 投資環境

## 株式市況

【MSCIワールド・インデックス  
（配当込み、米ドルベース）の推移】

(注) FactSetのデータを使用しています。

株式市場は当作成期を通じて見ると上昇しました。

当作成期初以降、米政府機関閉鎖への懸念や全米自動車労働組合（UAW）によるストライキなどの金利上昇要因が複数顕在化し、米金融引き締め長期化への懸念と相まって米長期金利の上昇が懸念され株価は下落する展開となりました。加えて、中東情勢の緊迫化等も嫌気され株価は一時大きく下落しました。11月に入るとインフレの落ち着きなどから欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する期待感を背景とした米長期金利の低下から株価は持ち直す展開となりました。特に米大手半導体企業における生成AIの需要拡大による好業績発表などを受けて半導体関連銘柄が市場をけん引したことや、金利高が嫌気されていた不動産セクターなどを中心に買い戻しと見られる動きが鮮明となりました。当作成期末にかけては、生成AI関連へのさらなる需要拡大期待や業績動向を手がかりにした世界的な大型株への物色の動きなどから株価は上げ幅を広げ当作成期末を迎えました。

## 為替市況

【米ドル／円レートの推移】



(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル／円相場は当作成期を通じて見ると米ドル高円安となりました。

当作成期初以降、欧米中央銀行による金融引き締めの継続等を受けて米ドル高円安基調が進行しました。11月中旬以降は欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する見方の高まりから円高に転じた場面があったものの、年明け以降は能登半島地震により日銀の金融政策正常化が遅れるとの見方や米早期利下げ観測の後退などから米ドル高円安基調となりました。

## ポートフォリオ

### ■当ファンド

マザーファンド受益証券の組み入れを高位に保った運用を行いました（ただし、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

### ■マザーファンド

日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

当作成期末における業種配分は、組入比率の高い順に情報技術（71.8%）、コミュニケーション・サービス（20.4%）、一般消費財・サービス（2.4%）としています。

当作成期末における国・地域別配分は、組入比率の高い順にアメリカ（84.3%）、中国（2.7%）、オランダ（2.3%）としています。

(注1) メタバースとはメタ（meta：超越）とユニバース（universe：世界）を組み合わせた造語で、通信ネットワーク上に構築された仮想空間やそのサービスのことをさします。参加者はアバターと呼ばれる自分の分身を操作して、仮想空間内でさまざまな活動を行うことができます。

(注2) 業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(注3) 比率は対純資産総額比です。

(注4) 国・地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## ベンチマークとの差異

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

## 分配金

当作成期の分配金は、各決算日の前営業日の基準価額に応じ、当運用報告書「当ファンドの概要」分配方針などから基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

## 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
	2023年8月11日 ～ 2023年9月11日	2023年9月12日 ～ 2023年10月10日	2023年10月11日 ～ 2023年11月10日	2023年11月11日 ～ 2023年12月11日	2023年12月12日 ～ 2024年1月10日	2024年1月11日 ～ 2024年2月13日
当期分配金（税引前）	—	—	200円	200円	200円	300円
対基準価額比率	—	—	1.80%	1.81%	1.79%	2.37%
当期の収益	—	—	200円	119円	200円	300円
当期の収益以外	—	—	—	80円	—	—
翌期繰越分配対象額	1,847円	1,882円	2,172円	2,092円	2,224円	3,561円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### ■当ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

### ■マザーファンド

当マザーファンドは長期的な視点で、今後、大きな成長が期待される「メタバース」に関連する技術、コンテンツ展開力、市場アクセス等に強みを持つ企業へ投資を行っています。投資にあたっては「メタバース」関連の技術やコンテンツ等において企業として競争優位性を持っているかを分析したうえで、今後、中長期的な業績成長シナリオを達成できると見込まれる企業への投資を行っています。

「メタバース」はこれから成長する技術でもあり、多くの技術やコンテンツ等は比較的新しい中小の企業が持っていることも事実です。このため、当マザーファンドでは時価総額などで規模の小さい企業群への投資がやや多くなる傾向にあります。「今後、これらの中小規模の企業が大きく業績成長することを期待して投資を行っている」とご理解いただけますと幸いです。銘柄選別にあたっては「メタバース」をキーワードとした業績成長シナリオを想定しており、経営陣が確かな執行能力を持つと思われる企業の中から、長期的な成長力を重視して選択しています。同時に株価バリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）を考慮し、相対的にバリュエーションが高すぎる銘柄を排除するなど、慎重な銘柄選択を実施しています。今後も、「メタバース」をキーワードに長期的な成長を達成し、同時に企業価値を向上することができる銘柄への投資を進めていきたいと考えています。



# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

### 組入ファンド

	第22期末 2024年2月13日
ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

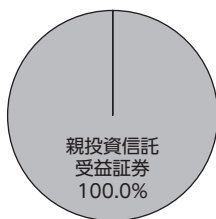
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### 純資産等

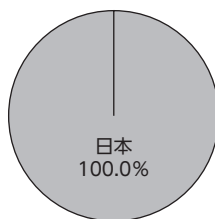
項目	第17期末 2023年9月11日	第18期末 2023年10月10日	第19期末 2023年11月10日	第20期末 2023年12月11日	第21期末 2024年1月10日	第22期末 2024年2月13日
純資産総額	4,429,998,907円	4,427,731,458円	4,369,979,934円	4,235,573,974円	4,402,225,461円	5,010,819,272円
受益権総口数	4,179,591,194口	4,166,181,674口	4,002,846,745口	3,906,126,203口	4,005,962,403口	4,050,335,475口
1万口当たり基準価額	10,599円	10,628円	10,917円	10,843円	10,989円	12,371円

(注) 当作成期間(第17期~第22期)中における追加設定元本額は1,083,868,267円、同解約元本額は1,111,678,656円です。

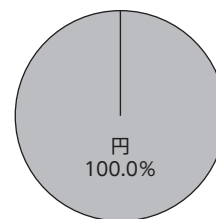
### 資産別配分



### 国別配分



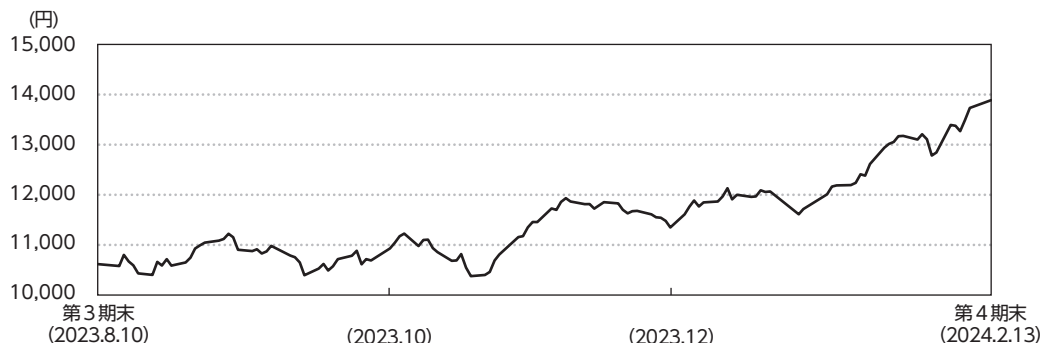
### 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年2月13日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## ニッセイ・メタバースワールドマザーファンドの概要

### ■ 基準価額の推移



### ■ 上位銘柄

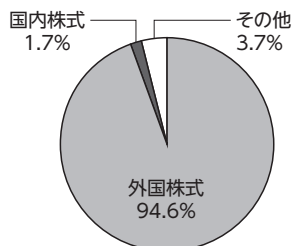
銘柄名	通貨	比率
NVIDIA CORP	米ドル	8.4%
META PLATFORMS INC-A	米ドル	7.6%
BROADCOM INC	米ドル	5.3%
APPLIED MATERIALS INC	米ドル	3.7%
MICROSOFT CORP	米ドル	3.6%
ARISTA NETWORKS INC	米ドル	3.5%
CADENCE DESIGN SYSTEMS INC	米ドル	3.3%
IMMERSION CORPORATION	米ドル	3.3%
ADVANCED MICRO DEVICES INC	米ドル	3.3%
QUALCOMM INC	米ドル	3.3%
組入銘柄数		43

### ■ 1万口当たりの費用明細

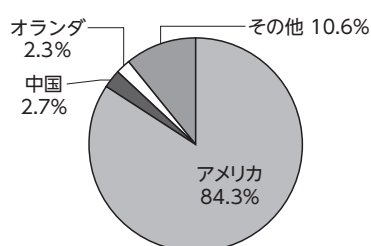
2023.8.11～2024.2.13

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	1円 (1)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)
合計	2

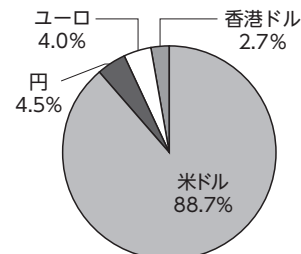
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2024年2月13日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	株式 組入比率	純資産 総額
				基準価額＋ 累計分配金		
(設定日)	円	円	%	円	%	百万円
2022年3月31日	10,000	—	—	10,000	—	251
1期(2022年5月10日)	8,202	0	△18.0	8,202	90.2	449
2期(2022年6月10日)	8,767	0	6.9	8,767	96.9	619
3期(2022年7月11日)	8,562	0	△2.3	8,562	96.2	688
4期(2022年8月10日)	8,989	0	5.0	8,989	96.6	891
5期(2022年9月12日)	8,975	0	△0.2	8,975	97.3	1,517
6期(2022年10月11日)	7,822	0	△12.8	7,822	93.6	1,876
7期(2022年11月10日)	7,650	0	△2.2	7,650	93.4	2,083
8期(2022年12月12日)	7,958	0	4.0	7,958	91.2	2,342
9期(2023年1月10日)	7,614	0	△4.3	7,614	94.3	2,346
10期(2023年2月10日)	8,505	0	11.7	8,505	93.5	2,731
11期(2023年3月10日)	8,511	0	0.1	8,511	92.2	2,887
12期(2023年4月10日)	8,813	0	3.5	8,813	96.8	2,980
13期(2023年5月10日)	8,634	0	△2.0	8,634	96.2	3,080
14期(2023年6月12日)	9,991	0	15.7	9,991	97.8	3,452
15期(2023年7月10日)	10,350	0	3.6	10,350	94.8	4,022
16期(2023年8月10日)	10,357	0	0.1	10,357	96.7	4,223
17期(2023年9月11日)	10,599	0	2.3	10,599	96.1	4,429
18期(2023年10月10日)	10,628	0	0.3	10,628	94.3	4,427
19期(2023年11月10日)	10,917	200	4.6	11,117	96.9	4,369
20期(2023年12月11日)	10,843	200	1.2	11,243	97.4	4,235
21期(2024年1月10日)	10,989	200	3.2	11,589	95.4	4,402
22期(2024年2月13日)	12,371	300	15.3	13,271	96.4	5,010

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

(注5) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注6) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

(注7) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## 当作成期中の基準価額と市況等の推移

	年月日	基準価額	騰落率		株式 組入比率
第 17 期	(期首)	円		%	%
	2023年8月10日	10,357		—	96.7
	8月末	10,710		3.4	97.4
第 18 期	(期末)				
	2023年9月11日	10,599		2.3	96.1
	(期首)				
第 18 期	2023年9月11日	10,599		—	96.1
	9月末	10,431		△ 1.6	98.7
	(期末)				
第 19 期	2023年10月10日	10,628		0.3	94.3
	(期首)				
	2023年10月10日	10,628		—	94.3
第 19 期	10月末	10,162		△ 4.4	97.2
	(期末)				
	2023年11月10日	11,117		4.6	96.9
第 20 期	(期首)				
	2023年11月10日	10,917		—	96.9
	11月末	11,111		1.8	96.9
第 21 期	(期末)				
	2023年12月11日	11,043		1.2	97.4
	(期首)				
第 21 期	2023年12月11日	10,843		—	97.4
	12月末	11,259		3.8	97.9
	(期末)				
第 22 期	2024年1月10日	11,189		3.2	95.4
	(期首)				
	2024年1月10日	10,989		—	95.4
第 22 期	1月末	11,981		9.0	95.9
	(期末)				
	2024年2月13日	12,671		15.3	96.4

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2023年8月11日～2024年2月13日

	第17期～第22期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	1,324,976	1,520,060	1,616,964	1,868,378

(注) 単位未満は切り捨てています。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	第17期～第22期
	ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド
(a) 作成期中の株式売買金額	1,010,177千円
(b) 作成期中の平均組入株式時価総額	8,999,147千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	0.11

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 外国株式の(a)は各月末（作成期末の属する月については作成期末）、(b)は各月末の国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2023年8月11日～2024年2月13日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2024年2月13日現在

種類	第16期末	第22期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	3,901,186	3,609,198	5,012,454

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当作成期末におけるニッセイ・メタバースワールドマザーファンド全体の口数は7,699,135千口です。

投資信託財産の構成

2024年2月13日現在

項目	第22期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	5,012,454	97.1
コール・ローン等、その他	147,839	2.9
投資信託財産総額	5,160,294	100.0

(注1) 外貨建資産は、当作成期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお2月13日における邦貨換算レートは、1米ドル149.39円、1香港ドル19.11円、1ユーロ160.92円です。

(注2) ニッセイ・メタバースワールドマザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（10,206,112千円）の投資信託財産総額（10,854,275千円）に対する比率は94.0%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	(2023年9月11日)	(2023年10月10日)	(2023年11月10日)	(2023年12月11日)	(2024年1月10日)	(2024年2月13日)現在
	第17期末	第18期末	第19期末	第20期末	第21期末	第22期末
<b>(A)資産</b>	<b>4,470,341,844円</b>	<b>4,442,810,683円</b>	<b>4,523,393,288円</b>	<b>4,331,530,495円</b>	<b>4,492,323,049円</b>	<b>5,160,294,048円</b>
<b>産</b>						
コール・ローン等	5,788,865	4,988,287	6,078,790	5,738,120	4,118,781	6,591,641
ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド(評価額)	4,347,059,458	4,345,523,601	4,369,026,928	4,197,793,614	4,363,027,667	5,012,454,790
未収入金	117,493,521	92,298,795	148,287,570	127,998,761	125,176,601	141,247,617
<b>(B)負債</b>	<b>40,342,937</b>	<b>15,079,225</b>	<b>153,413,354</b>	<b>95,956,521</b>	<b>90,097,588</b>	<b>149,474,776</b>
<b>債</b>						
未払収益分配金	-	-	80,056,934	78,122,524	80,119,248	121,510,064
未払解約金	33,150,301	8,510,465	66,354,693	10,772,007	3,092,944	19,545,851
未払信託報酬	7,160,704	6,539,621	6,970,661	7,030,681	6,854,887	8,381,817
その他未払費用	31,932	29,139	31,066	31,309	30,509	37,044
<b>(C)純資産総額(A-B)</b>	<b>4,429,998,907</b>	<b>4,427,731,458</b>	<b>4,369,979,934</b>	<b>4,235,573,974</b>	<b>4,402,225,461</b>	<b>5,010,819,272</b>
<b>元本</b>	<b>4,179,591,194</b>	<b>4,166,181,674</b>	<b>4,002,846,745</b>	<b>3,906,126,203</b>	<b>4,005,962,403</b>	<b>4,050,335,475</b>
<b>次期繰越損益金</b>	<b>250,407,713</b>	<b>261,549,784</b>	<b>367,133,189</b>	<b>329,447,771</b>	<b>396,263,058</b>	<b>960,483,797</b>
<b>(D)受益権総口数</b>	<b>4,179,591,194口</b>	<b>4,166,181,674口</b>	<b>4,002,846,745口</b>	<b>3,906,126,203口</b>	<b>4,005,962,403口</b>	<b>4,050,335,475口</b>
<b>1万口当たり基準価額(C/D)</b>	<b>10,599円</b>	<b>10,628円</b>	<b>10,917円</b>	<b>10,843円</b>	<b>10,989円</b>	<b>12,371円</b>

(注) 当作成期首元本額 4,078,145,864円  
 当作成期中追加設定元本額 1,083,868,267円  
 当作成期中一部解約元本額 1,111,678,656円

## 損益の状況

(第17期 2023年8月11日～2023年9月11日) (第20期 2023年11月11日～2023年12月11日)  
 (第18期 2023年9月12日～2023年10月10日) (第21期 2023年12月12日～2024年1月10日)  
 (第19期 2023年10月11日～2023年11月10日) (第22期 2024年1月11日～2024年2月13日)

項目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
(A)配当等収益	△ 201円	△ 70円	△ 17円	△ 27円	△ 71円	△ 2円
受取利息	17	15	4	3	-	9
支払利息	△ 218	△ 85	△ 21	△ 30	△ 71	△ 11
(B)有価証券売買損益	102,935,597	21,140,459	203,092,731	53,705,828	139,889,402	671,476,572
売買益	106,509,471	26,801,771	207,182,841	60,191,330	144,117,031	686,809,356
売買損	△ 3,573,874	△ 5,661,312	△ 4,090,110	△ 6,485,502	△ 4,227,629	△ 15,332,784
(C)信託報酬等	△ 7,192,635	△ 6,568,760	△ 7,001,727	△ 7,061,989	△ 6,885,396	△ 8,418,861
(D)当期損益金(A+B+C)	95,742,761	14,571,629	196,090,987	46,643,812	133,003,935	663,057,709
(E)前期繰越損益金	462,287,092	537,967,905	526,310,560	600,020,551	548,912,123	573,718,802
(分配準備積立金)	( 467,988,247)	( 537,967,905)	( 526,310,560)	( 600,020,551)	( 548,912,123)	( 573,718,802)
(繰越欠損金)	(△ 5,701,155)	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )
(F)追加信託差損益金*	△307,622,140	△290,989,750	△275,211,424	△239,094,068	△205,533,752	△ 154,782,650
(配当等相当額)	( 214,108,454)	( 231,799,558)	( 227,325,822)	( 248,645,677)	( 289,255,025)	( 327,285,586)
(売買損益相当額)	(△521,730,594)	(△522,789,308)	(△502,537,246)	(△487,739,745)	(△494,788,777)	(△ 482,068,236)
(G)合計(D+E+F)	250,407,713	261,549,784	447,190,123	407,570,295	476,382,306	1,081,993,861
(H)収益分配金	-	-	△ 80,056,934	△ 78,122,524	△ 80,119,248	△ 121,510,064
次期繰越損益金(G+H)	250,407,713	261,549,784	367,133,189	329,447,771	396,263,058	960,483,797
追加信託差損益金	△307,622,140	△290,989,750	△275,211,424	△239,094,068	△205,533,752	△ 154,782,650
(配当等相当額)	( 214,215,490)	( 231,848,430)	( 227,335,502)	( 248,737,000)	( 289,337,053)	( 327,348,968)
(売買損益相当額)	(△521,837,630)	(△522,838,180)	(△502,546,926)	(△487,831,068)	(△494,870,805)	(△ 482,131,618)
分配準備積立金	558,029,853	552,539,534	642,344,613	568,541,839	601,796,810	1,115,266,447

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

## 分配金の計算過程

項目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,044,083円	1,359,416円	1,617,094円	2,877,219円	1,559,987円	1,867,002円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	86,997,523円	13,212,213円	194,473,893円	43,766,593円	131,443,948円	661,190,707円
(c) 信託約款に定める収益調整金	214,215,490円	231,848,430円	227,335,502円	248,737,000円	289,337,053円	327,348,968円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	467,988,247円	537,967,905円	526,310,560円	600,020,551円	548,912,123円	573,718,802円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	772,245,343円	784,387,964円	949,737,049円	895,401,363円	971,253,111円	1,564,125,479円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	1,847.66円	1,882.75円	2,372.65円	2,292.30円	2,424.52円	3,861.72円
(g) 分配金	0円	0円	80,056,934円	78,122,524円	80,119,248円	121,510,064円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円	0円	200円	200円	200円	300円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。



# 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間	2022年3月31日～2032年8月10日	
運 用 方 針	ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ・メタバースワールド（予想分配金提示型）	ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド受益証券
	ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	日本を含む各国の株式
運用方法	ニッセイ・メタバースワールド（予想分配金提示型）	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

分 配 方 針	<p>毎月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。                  分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益等の全額とします。                  収益分配方針に基づき、原則として決算日の前営業日の基準価額（1万口当たり。支払い済みの分配金累計額は加算しません。）に応じて、以下の金額の分配をめざします。</p>	
	<b>決算日の前営業日の基準価額</b>	<b>分配金額（1万口当たり、税引前）</b>
	11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
	11,000円以上12,000円未満	200円
	12,000円以上13,000円未満	300円
	13,000円以上14,000円未満	400円
	14,000円以上	500円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分配対象額が少額の場合、あるいは決算日の前営業日から決算日までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。また、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。</li> <li>・ 基準価額の値上がりにより、該当する分配金テーブルが分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える場合等には、テーブル通りの分配ができないことがあります。</li> <li>・ 基準価額に応じて、毎月の分配金額は変動します。基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。</li> <li>・ 分配を行うことにより基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。</li> </ul> <p>※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。</p> <p>※将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。</p>		

# ニッセイ・メタバースワールド マザーファンド

## 運用報告書

### 第 4 期

(計算期間：2023年8月11日～2024年2月13日)

#### 運用方針

- ①主に日本を含む各国の株式等を主要投資対象とし、仮想現実関連技術を含むメタバース関連ビジネスを行う企業の株式に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。
- ②仮想現実関連技術を含むメタバース関連ビジネスを行う企業のなかから、メタバース関連ビジネス拡大の恩恵を受け、今後、利益成長が期待できる銘柄に投資を行います。

#### 主要運用 対象

日本を含む各国の株式

#### 運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。

- ・株式への投資割合には、制限を設けません。
- ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

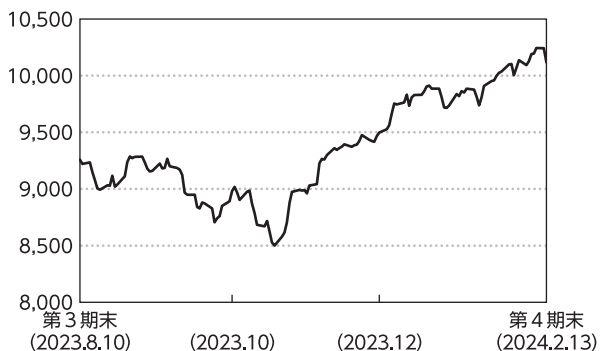
# 運用経過

2023年8月11日～2024年2月13日

## 投資環境

### 株式市況

【MSCIワールド・インデックス  
(配当込み、米ドルベース)の推移】

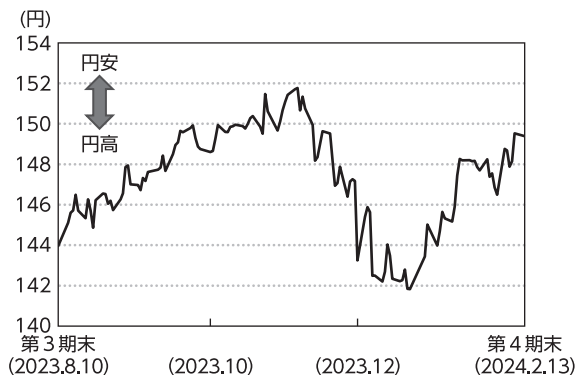


(注) FactSetのデータを使用しています。

株式市場は期を通じて見ると上昇しました。期初以降、米政府機関閉鎖への懸念や全米自動車労働組合（UAW）によるストライキなどの金利上昇要因が複数顕在化し、米金融引き締め長期化への懸念と相まって米長期金利の上昇が懸念され株価は下落する展開となりました。加えて、中東情勢の緊迫化等も嫌気され株価は一時大きく下落しました。11月に入るとインフレの落ち着きなどから欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する期待感を背景とした米長期金利の低下から株価は持ち直す展開となりました。特に米大手半導体企業における生成AIの需要拡大による好業績発表などを受けて半導体関連銘柄が市場をけん引したことや、金利高が嫌気されていた不動産セクターなどを中心に買い戻しと見られる動きが鮮明となりました。当期末にかけては、生成AI関連へのさらなる需要拡大期待や業績動向を手がかりにした世界的な大型株への物色の動きなどから株価は上げ幅を広げ当期末を迎えました。

### 為替市況

【米ドル/円レートの推移】



(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル/円相場は期を通じて見ると米ドル高円安となりました。

期初以降、欧米中央銀行による金融引き締めの継続等を受けて米ドル高円安基調が進行しました。11月中旬以降は欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する見方の高まりから円高に転じた場面があったものの、年明け以降は能登半島地震により日銀の金融政策正常化が遅れるとの見方や米早期利下げ観測の後退などから米ドル高円安基調となりました。

## 基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

#### <上昇要因>

- ・ 11月上旬から12月下旬にかけて、インフレの落ち着きなどから欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する期待感を背景とした米長期金利の低下や、生成人工知能（AI）の需要拡大による米大手半導体企業の良好な業績発表などが好感され株価が上昇したこと
- ・ 1月中旬以降、生成AI関連へのさらなる需要拡大期待や業績動向を手がかりにした世界的な大型株への物色の動きなどから株価が上昇したこと
- ・ 投資家のリスク選好姿勢や日銀の金融緩和継続姿勢を受けて、期を通じて見るとおおむね円安が進行したこと

#### <下落要因>

- ・ 9月上旬から10月下旬にかけて、米金融引き締め長期化への懸念等を受けた米長期金利の上昇や中東情勢の緊迫化、低調な業績発表が相次ぎ半導体関連銘柄が下落したこと

## ポートフォリオ

日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

当期末における業種配分は、組入比率の高い順に情報技術（71.8%）、コミュニケーション・サービス（20.4%）、一般消費財・サービス（2.4%）としています。

当期末における国・地域別配分は、組入比率の高い順にアメリカ（84.3%）、中国（2.7%）、オランダ（2.3%）としています。

(注1) メタバースとはメタ（meta：超越）とユニバース（universe：世界）を組み合わせた造語で、通信ネットワーク上に構築された仮想空間やそのサービスのことをさします。参加者はアバターと呼ばれる自分の分身を操作して、仮想空間内でさまざまな活動を行うことができます。

(注2) 業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(注3) 比率は対純資産総額比です。

(注4) 国・地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

## 今後の運用方針

当マザーファンドは長期的な視点で、今後、大きな成長が期待される「メタバース」に関連する技術、コンテンツ展開力、市場アクセス等に強みを持つ企業へ投資を行っています。投資にあたっては「メタバース」関連の技術やコンテンツ等において企業として競争優位性を持っているかを分析したうえで、今後、中長期的な業績成長シナリオを達成できると見込まれる企業への投資を行っています。

「メタバース」はこれから成長する技術でもあり、多くの技術やコンテンツ等は比較的新しい中小の企業が持っていることも事実です。このため、当マザーファンドでは時価総額などで規模の小さい企業群への投資がやや多くなる傾向にあります。「今後、これらの中小規模の企業が大きく業績成長することを期待して投資を行っている」とご理解いただけますと幸いです。銘柄選別にあたっては「メタバース」をキーワードとした業績成長シナリオを想定しており、経営陣が確かな執行能力を持つと思われる企業の中から、長期的な成長力を重視して選択しています。同時に株価バリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）を考慮し、相対的にバリュエーションが高すぎる銘柄を排除するなど、慎重な銘柄選択を実施しています。今後も、「メタバース」をキーワードに長期的な成長を達成し、同時に企業価値を向上することができる銘柄への投資を進めていきたいと考えています。

## お知らせ

### ■約款変更

デリバティブ取引の利用目的を明確化するため、関連条項に所要の変更を行いました。

(2023年11月11日)

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率		株式組入比率	純資産総額
(設定日)	円		%	%	百万円
2022年3月31日	10,000		—	—	1,115
1期(2022年8月10日)	9,050	△	9.5	96.6	4,925
2期(2023年2月10日)	8,645	△	4.5	93.5	8,259
3期(2023年8月10日)	10,618		22.8	98.6	8,897
4期(2024年2月13日)	13,888		30.8	96.3	10,692

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

(注3) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株式組入比率
(期首)2023年8月10日	円		%	%
	10,618		—	98.6
8月末	10,992		3.5	97.4
9月末	10,716		0.9	98.7
10月末	10,462	△	1.5	97.2
11月末	11,673		9.9	96.9
12月末	12,066		13.6	97.9
2024年1月末	13,108		23.5	95.9
(期末)2024年2月13日	13,888		30.8	96.3

(注) 騰落率は期首比です。

## 1万口当たりの費用明細

2023年8月11日～2024年2月13日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (株式)	1円 (1)	0.006% (0.006)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用)	1 (1)	0.011 (0.010)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.001)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	2	0.017	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（11,522円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。



## 売買および取引の状況

2023年8月11日～2024年2月13日

## 株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
国内	上場	千株	千円	千株	千円
		－	－	1	12,365
外国	アメリカ	百株	千米ドル	百株	千米ドル
		－	－	854	6,274
	香港		千香港ドル		千香港ドル
		－	－	312	1,483
	ユーロ 圏		千ユーロ		千ユーロ
	オランダ	－	－	2	131
	フランス	－	－	32	129

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 地域は発行通貨によって区分しています。以下同じです。

(注3) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

## 主要な売買銘柄

2023年8月11日～2024年2月13日

## 株式

銘柄	買付			売付			
	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
－	－	－	－	NVIDIA CORP	1	70,871	69,550
				META PLATFORMS INC-A	1	68,829	48,200
				BROADCOM INC	0.371	51,283	138,229
				MICROSOFT CORP	0.770	40,265	52,293
				APPLIED MATERIALS INC	1	37,364	21,498
				CADENCE DESIGN SYSTEMS INC	0.961	35,906	37,364
				IMMERSION CORPORATION	35	35,083	985
				SYNOPSYS INC	0.471	34,494	73,237
				QUALCOMM INC	1	34,004	18,154
				ARISTA NETWORKS INC	1	33,925	30,982

(注1) 金額は受渡代金で、外国株式は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

## 組入有価証券明細表

2024年2月13日現在

(1) 国内株式  
上場株式

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
<b>電気機器(39.5%)</b>			
ソニーグループ	5	4	72,201
<b>その他製品(60.5%)</b>			
任天堂	13	12	110,617
合計	株数・金額	19	17
	銘柄数<比率>	2	2
			<1.7%>

(注1) 銘柄欄の( )内は、当期末における国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注2) 合計欄の< >内は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 株数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および評価額が単位未満の場合は、小数で記載していません。以下同じです。

## (2) 外国株式

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千米ドル	千円	
<b>(アメリカ)</b>					
ADOBE INC	34	30	1,858	277,590	ソフトウェア・サービス
ADVANCED MICRO DEVICES INC	152	135	2,335	348,936	半導体・半導体製造装置
AKAMAI TECHNOLOGIES INC	113	101	1,300	194,334	ソフトウェア・サービス
ALPHABET INC-CL A	123	109	1,622	242,324	メディア・娯楽
AMAZON.COM INC	93	83	1,441	215,415	一般消費財・サービス流通・小売り
APPLE INC	97	87	1,628	243,321	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
APPLIED MATERIALS INC	158	141	2,623	391,929	半導体・半導体製造装置
ARISTA NETWORKS INC	99	89	2,500	373,575	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
AUTODESK INC	82	73	1,931	288,585	ソフトウェア・サービス
BENTLEY SYSTEMS INC-CLASS B	315	281	1,447	216,201	ソフトウェア・サービス
BROADCOM INC	33	30	3,819	570,525	半導体・半導体製造装置
CADENCE DESIGN SYSTEMS INC	87	78	2,394	357,697	ソフトウェア・サービス
CIENA CORP	223	199	1,132	169,232	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ELECTRONIC ARTS INC	109	97	1,345	200,985	メディア・娯楽
IMMERSION CORPORATION	3,250	2,894	2,376	355,065	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MARVELL TECHNOLOGY INC	192	171	1,206	180,218	半導体・半導体製造装置
META PLATFORMS INC-A	130	116	5,447	813,828	メディア・娯楽
MICROSOFT CORP	70	62	2,603	388,901	ソフトウェア・サービス
NVIDIA CORP	93	82	5,987	894,426	半導体・半導体製造装置
QUALCOMM INC	171	152	2,331	348,288	半導体・半導体製造装置

## ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド

銘柄	期首(前期末)	当期末				業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
<b>(アメリカ)</b>		百株	百株	千米ドル	千円	
ROBLOX CORP -CLASS A		480	427	1,870	279,381	メディア・娯楽
SAMSUNG ELECTRONICS-GDR 144A		7	6	907	135,534	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
SEA LTD-ADR		105	93	408	61,070	メディア・娯楽
SKYWORKS SOLUTIONS INC		184	164	1,745	260,770	半導体・半導体製造装置
SNAP INC - A		406	361	421	62,901	メディア・娯楽
SYNOPSIS INC		43	38	2,178	325,436	ソフトウェア・サービス
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR		105	93	1,220	182,284	半導体・半導体製造装置
TAKE-TWO INTERACTIVE SOFTWARE		90	80	1,249	186,679	メディア・娯楽
TERADYNE INC		183	163	1,678	250,730	半導体・半導体製造装置
TEXAS INSTRUMENTS INC		96	86	1,387	207,236	半導体・半導体製造装置
UNITY SOFTWARE INC		222	198	675	100,895	ソフトウェア・サービス
WALT DISNEY CO		100	89	977	146,027	メディア・娯楽
ZOOM VIDEO COMMUNICATIONS-A		145	129	836	124,906	ソフトウェア・サービス
小計		7,806	6,951	62,890	9,395,242	
		株数・金額				
		銘柄数<比率>	33	33	-	<87.9%>
<b>(香港)</b>				千香港ドル		
ALIBABA GROUP HOLDING LTD		362	333	2,307	44,099	一般消費財・サービス流通・小売り
BAIDU INC-CLASS A		258	237	2,398	45,834	メディア・娯楽
MEITUAN-B		10	10	69	1,324	消費者サービス
NETEASE INC		306	280	4,594	87,806	メディア・娯楽
TENCENT HOLDINGS LTD		101	93	2,670	51,042	メディア・娯楽
XIAOMI CORP-CLASS B		2,782	2,554	3,177	60,715	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小計		3,819	3,507	15,218	290,823	
		株数・金額				
		銘柄数<比率>	6	6	-	<2.7%>
<b>(ユーロ/オランダ)</b>				千ユーロ		
ASML HOLDING NV		19	17	1,550	249,541	半導体・半導体製造装置
小計		19	17	1,550	249,541	
		株数・金額				
		銘柄数<比率>	1	1	-	<2.3%>
<b>(ユーロ/フランス)</b>						
DASSAULT SYSTEMES SA		296	263	1,137	183,036	ソフトウェア・サービス
小計		296	263	1,137	183,036	
		株数・金額				
		銘柄数<比率>	1	1	-	<1.7%>
ユーロ計		315	281	2,688	432,577	
		株数・金額				
		銘柄数<比率>	2	2	-	<4.0%>
合計		11,942	10,740	-	10,118,643	
		株数・金額				
		銘柄数<比率>	41	41	-	<94.6%>

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額の< >内は、当期末の純資産総額に対する株式評価額の比率です。

(注3) 業種はGICS分類（産業グループ）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

## 投資信託財産の構成

2024年2月13日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	10,301,462	94.9
コール・ローン等、その他	552,813	5.1
投資信託財産総額	10,854,275	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売相場の中値により邦貨換算したものです。なお2月13日における邦貨換算レートは、1米ドル149.39円、1香港ドル19.11円、1ユーロ160.92円です。

(注2) 外貨建純資産（10,206,112千円）の投資信託財産総額（10,854,275千円）に対する比率は94.0%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年2月13日現在)

項目	当期末
(A)資産	10,854,275,052円
コール・ローン等	550,676,468
株式(評価額)	10,301,462,040
未収配当金	2,136,544
(B)負債	161,917,053
未払解約金	161,916,121
その他未払費用	932
(C)純資産総額(A-B)	10,692,357,999
元本	7,699,135,324
次期繰越損益金	2,993,222,675
(D)受益権総口数	7,699,135,324口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,888円

(注1) 期首元本額 8,379,399,180円  
 期中追加設定元本額 2,060,266,068円  
 期中一部解約元本額 2,740,529,924円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイ・メタバースワールド（資産成長型） 4,089,936,886円  
 ニッセイ・メタバースワールド（予想分配金提示型） 3,609,198,438円

## 損益の状況

当期（2023年8月11日～2024年2月13日）

項目	当期
(A)配当等収益	29,323,825円
受取配当金	28,781,226
受取利息	585,456
その他収益	1
支払利息	△ 42,858
(B)有価証券売買損益	2,540,676,456
売買損益	2,665,169,647
売買損	△ 124,493,191
(C)信託報酬等	△ 999,455
(D)当期損益金(A+B+C)	2,569,000,826
(E)前期繰越損益金	518,059,726
(F)追加信託差損益金	318,951,180
(G)解約差損益金	△ 412,789,057
(H)合計(D+E+F+G)	2,993,222,675
次期繰越損益金(H)	2,993,222,675

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。